

## 防ごう障がい者虐待。加西市障がい者虐待防止センターを開設

障害者虐待防止法が10月から施行されました。虐待によって障がいのある方の権利や尊厳がおびやかされることを防ぐための法律です。

家庭や施設、勤務先などで、障がいのある方への虐待に気づいた方は、加西市障がい者虐待防止センターにお知らせください。介護支援などの相談も受け付けています（通報や届け出をされた方の名前や住所などは、絶対に第三者に伝えることはありません）。

障がいのある方が安心して暮らしていけるよう、みんなで虐待防止に取り組みましょう。

次のようなことは虐待になります。

身体的虐待	暴力や体罰で身体に痛みを与える行為など
性的虐待	わいせつなことをしたり、させたりすること
心理的虐待	どなる、ののしる、意図的に無視するなど
放棄・放任	食事や水分を十分与えない、福祉サービスや医療を受けさせないなど
経済的虐待	年金や賃金などを渡さない、本人の同意なしに財産を処分するなど

### ■加西市障がい者虐待防止センター

●平日 8:30～17:15（12/29～1/3を除く）

通報／加西市役所地域福祉課・障がい者支援係 ☎④8725 FAX④1801

相談／加西市障害者（児）相談支援センター・やすらぎ（市役所1階市民ホール内） ☎④6708 FAX④6709

●上記以外の時間

通報／加西市役所（時間外受付） ☎④1110

### ■障がい者相談員による相談窓口（無料・秘密厳守）

同じ障がいのある障がい者及びその家族が、相談員として実際の体験をもとに相談に応じます。

- 身体障害者福祉相談 日時／毎月第2木曜日 13:30～16:00、毎月第4木曜日 9:00～11:00 場所／健康福祉会館内
- 知的障害者福祉相談 日時／10月16日（火）、11月14日（水）10:00～12:00 場所／健康福祉会館内
- 精神障害者福祉相談 日時／毎月第4水曜日 13:00～15:00 場所／市役所内会議室

【問合せ】 地域福祉課・障がい者支援係 ☎④8725 FAX④1801 fukushi@city.kasai.lg.jp

## 高齢者インフルエンザ予防接種

インフルエンザは、風邪に比べ気管支炎や肺炎などを併発しやすく、命にかかわることがあります。接種を希望される方は、流行前の12月中旬までに接種を受けましょう。

■対象者（接種日の年齢）

満65歳以上の方、満60歳以上65歳未満の方で心臓・腎臓・呼吸器の機能障害、もしくはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害をお持ちの方

■接種期間／10月15日（月）～平成25年1月31日（木）

■料 金／無料（3,600円を市が負担します）

■回 数／期間内1回

■必要な物／健康保険証など接種対象者を証明できるもの



■接種医療機関

市内指定医療機関、小野市・加東市・三木市・西脇市・多可町の指定医療機関で接種できます。これ以外の医療機関で接種される方は、接種予定日までに、健康課で手続きが必要です。

【市内指定医療機関】 ※事前に必ずお問い合わせください。

あさじ医院 ☎④0225	さかいこどもクリニック ☎④0415	西村耳鼻咽喉科 ☎④6020
安積医院 ☎④0361	坂部整形外科 ☎④1444	北条田仲病院 ☎④4950
荒木医院 ☎④9711	佐竹医院 ☎④4057	堀井内科医院 ☎④0150
いずみ泌尿器科 ☎④5900	市立加西病院 ☎④2200	みのりクリニック ☎④8470
医療福祉センターきずな ☎④2881	田尻内科循環器科 ☎④7931	横田内科医院 ☎④5715
大杉内科医院 ☎④0023	つつみ神経内科 ☎④2050	米田病院 ☎④3591
小野寺医院 ☎④3737	徳岡内科 ☎④0178	
おりた外科胃腸科 ☎④6000	西村医院 ☎④0001	

【問合せ】 健康課・健康係 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp

## 加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

### 加西病院外科について

#### ■外科とは

加西病院の外科は“おなか”の外科で、消化器外科が中心です。胃がん、大腸がん、胃・十二指腸かいよう穿孔（せんこう、孔があいて腹膜炎になる）、もうちょう（虫垂炎）、胆のう炎などの“おなか”中の炎症、腸閉塞（腸がつまること）、脱腸（だっちょう、ソケイ部のヘルニア）などの患者さんが対象となります。

#### ■スタッフの専門性

外科スタッフは4人で、その専門性では全員が日本外科学会の外科専門医であり、日本消化器外科学会の専門医が3人、さらに、全員にがん治療認定医または日本臨床腫瘍（しゅよう）学会の暫定指導医の資格があり、“おなか”のがんを手術できるメンバーで構成しています。

#### ■手術件数

平成23年中の手術例数は全身麻酔、下半身麻酔から局所麻酔までのトータルが349例で、手術件数が20例以上の手術は、胃・十二指腸疾患29例、大腸疾患56例、腸閉塞20例、虫垂炎32例、胆のう・胆かん疾患68例、ソケイヘルニア62例ありました。

最近普及している鏡視下手術とは、腹腔鏡（ふくくう

きょう）などの内視鏡を使った手術のことで傷が小さく術後の痛みが少ない、手術するところがよく見えるなどの利点があります。



写真に示すように右端の鏡視下手術の様子。術者が操作道具を“おなか”の中に挿入し、前方の腹腔鏡のモニター画面を見ながら手術しています。鏡視下手術件数は、最近では年間100例前後となっており、各種診療ガイドラインに従った適応のもと積極的に取り入れています。

#### ■教育、研究体制

日本の医学系学会では専門性を重視し教育しているため、それぞれの学会で専門医研修制度が整備されていますが、当院の（消化器）外科領域では日本外科学会および日本がん治療認定医機構の認定施設となっています。平成24年からは日本消化器外科学会でも施設認定を獲得し、日常診療において若手医師、臨床研修医の教育を行っています。

また、当院は日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会の認定施設でもあり、消化器内科スタッフとの連携がスムーズに行えています。

（診療部長兼救急診療担当 生田 肇）

## 高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種のお知らせ

加西市は、高齢者の肺炎球菌に起因する肺炎の発症及び重篤化を予防するため、肺炎球菌ワクチン予防接種費用の一部を右のとおり助成しています。接種については事前に医師と相談し、十分納得した上で行ってください。詳しくは市ホームページでご確認ください。

■対象者／満65歳以上（接種日の年齢）の方で、過去に肺炎球菌ワクチン予防接種費の助成を受けていない方

■助成の回数／1人につき1回限り

■助成金の額／接種料金の2分の1（上限4,000円）

## 目を大切に。10月10日は「目の愛護デー」です

人間は、情報を得るために、8割は目に頼っているとされています。パソコンやテレビゲームのしすぎで、疲れ目や近視になってしまう方が多く、それに伴うドライアイや肩こりなどの症状を訴える人が増えてきています。

大切な目の健康を守るために、右のことを守りましょう。



■勉強や仕事は正しい姿勢でし、1時間したら10分程度遠くを見るなど目を休ませましょう。

■テレビゲームなど40分以上続けないようにしましょう。

■照明は明るすぎたり暗すぎたりないようにしましょう。■身体の緊張をほぐし目の症状をやわらげるため、身体を動かしましょう。

■目の健康のために緑黄色野菜を3食しっかり食べましょう。

■小さなことでも眼科専門医に相談しましょう。

【問合せ】 健康課・健康係 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp